

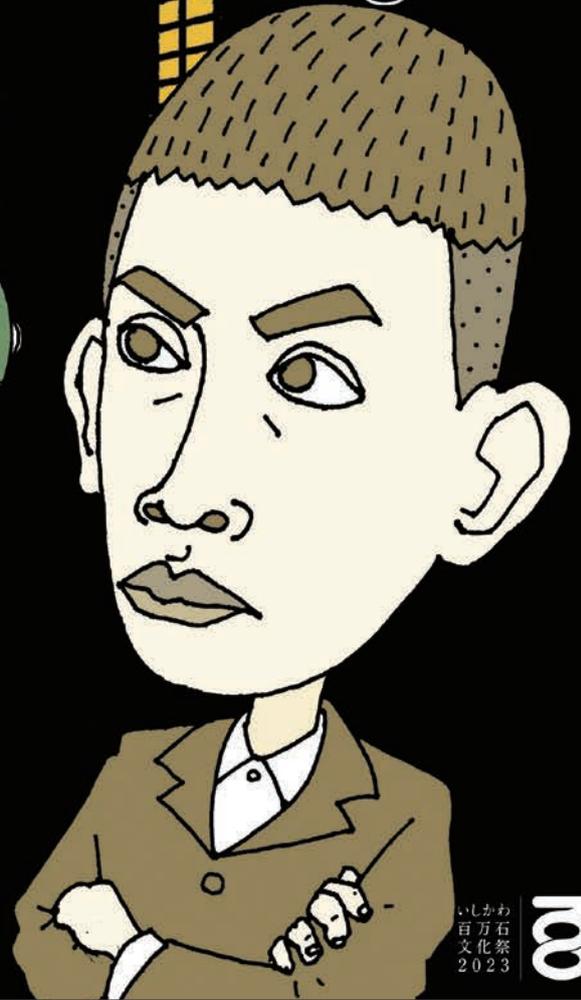
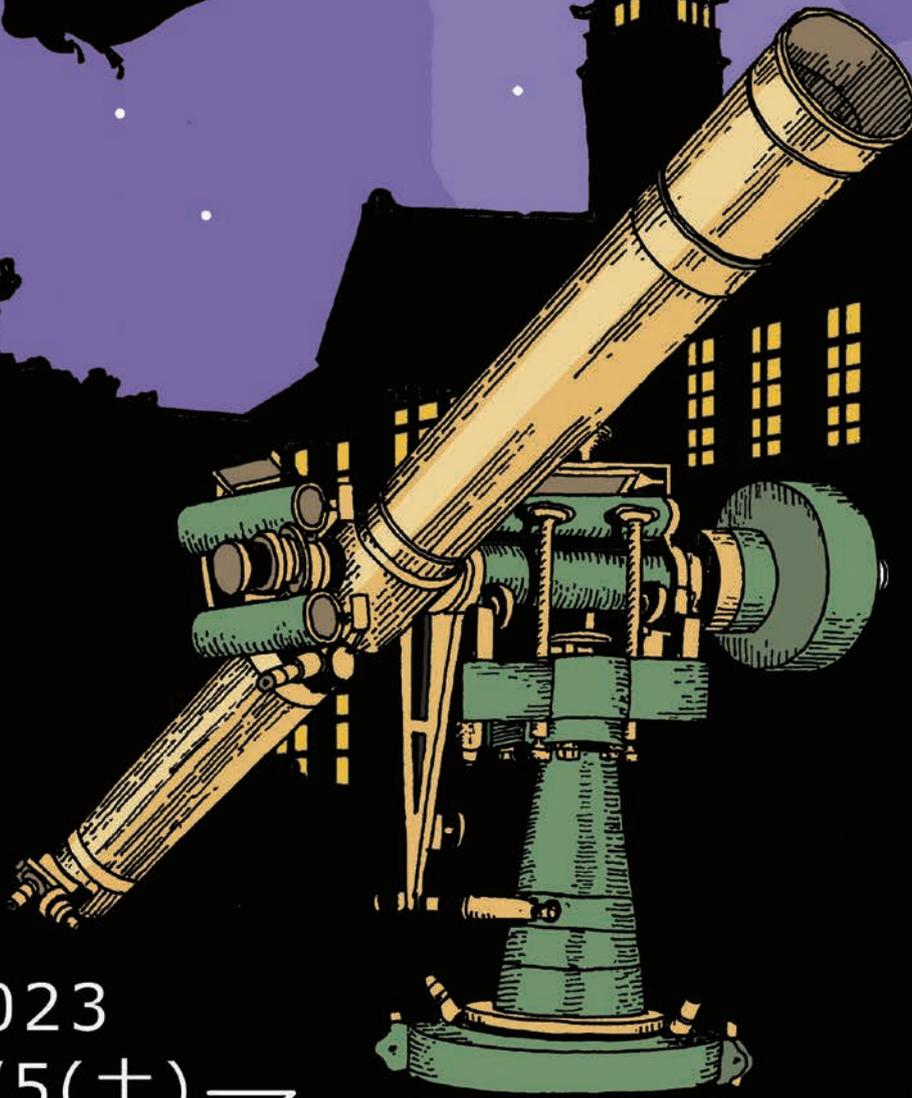
金沢ふるさと偉人館開館30周年特別展



—木村栄がつなぐ天文学—



$$\Delta \phi = X \cos \lambda + Y \sin \lambda + Z$$



2023
8/5(土) ~ 11/26(日)



若き日の木村栄

★ 天地人 — 木村栄がつなぐ天文学 — ★

天を測り、地を調べ、人を育んだ天文学者・木村栄。第二の故郷・水沢に彼が遺したものとは、そして生涯をかけて挑んだZ項解明の行方は——

近世加賀藩の天体観測から現代の最新宇宙工学に至る天文学の歩みを、貴重な天文関係資料とともに紹介します。木村栄がつなぐ天文学の過去と未来をお楽しみください。

主な展示品

- 英国王立天文台ゴールドメダル
(国立天文台水沢VLBI観測所蔵)
- 天体観測野帳
(国立天文台水沢VLBI観測所蔵)
- 彗星観測に関する資料
(金沢市立玉川図書館近世史料館蔵) ほか



水沢緯度観測所と木村(左)

関連イベント 開館30周年記念講演会

「木村栄がつなぐ過去と未来の天文学」

木村栄が与えた影響は、後世の宇宙工学のみならず、文学など様々な分野にわたりました。

本講演では、国立天文台の最前線で活躍する先生方を講師に迎え、木村栄を結節点とした天文学の魅力をお届けします。

令和5年 9月23日(土) 13時00分～15時30分 (12時30分開場)

金沢歌劇座 大集会室 (金沢市下本多町6番丁27番地)

参加費 一般500円、高校生以下無料

定員 250名(8月20日(日)より電話にて申込受付開始、先着順)

講師 渡部 潤一 先生(国立天文台 上席教授)

「木村栄と宮澤賢治 同時代の二人が為した天文学と天「文学」」

本間 希樹 先生(国立天文台 水沢VLBI観測所 所長)

「緯度観測からブラックホールへ ～木村栄から始まる水沢の天文台の過去・現在・未来」

ギャラリートーク 当館学芸員が解説します

令和5年 8月6日(日)、9月2日(土)、10月9日(月祝)、11月11日(土)、26日(日) 13:30～14:30

金沢ふるさと偉人館

〒920-0993 金沢市下本多町6番丁18番地4
TEL(076)220-2474 FAX(076)220-2197
<https://www.kanazawa-museum.jp/ijin/index.html>



■入館料

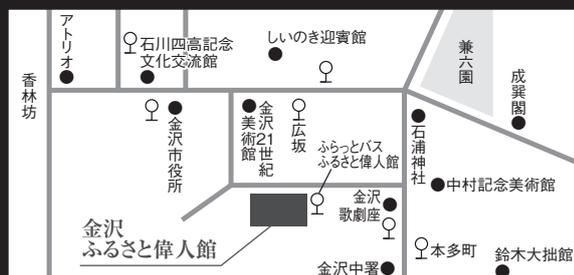
一般・大学生 310円 団体(20名以上) 260円 65歳以上 210円 高校生以下無料

■開館時間

午前9時30分から午後5時まで
(入館受付は午後4時30分まで)

■休館日

月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)
10/30(月)臨時開館 10/31(火)臨時休館



■北鉄バス…本多町下車 徒歩2分 ■城下町金沢周遊バス…本多町下車 徒歩2分
■ふらっとバス…ふるさと偉人館下車

後援:金沢市教育委員会、北國新聞社 (表面のデザインは上出債也)